オンラインセミナー／アーカイブ配信
1月20日(水) 開催

サーキュラーエコノミー時代の包装設計

2026年の国内外事例を踏まえた包装技術の動向と今後の展望

紙化、モノマテリアル化、再生材の利用など、環境に配慮した包装の取組が国内外で広がっています。2026年はPPWRの適用も始まり、包装を取り巻く環境が変化する中、素材や技術の選び方にも新たな視点が求められるようになりました。内容物を守る性能や生産性、コストに加え、使い終わった後の回収・再生までを見据えて、包装を考える必要があります。

こうした変化を捉えるうえで、国内外の企業や自治体の取組には多くのヒントがあります。紙化や再生材利用がどのような用途に広がり、採用にあたって何が課題となっているのか。材料や加工技術の工夫と、それを支える設備や回収の仕組みを合わせて見ることで、これからの包装設計の方向性が見えてきます。本講座では、**2026年の包装関連ニュースや事例を中心に、PPWR適用開始後の状況やISO 59000シリーズの考え方も交えながら、包装技術の動向と今後の展望を紹介**します。

印刷コンバーター、商社、製薬、製紙と、包装材を作る側と使う側の双方で開発・技術・企画に携わってきた講師が、その経験をもとに、事例の背景や技術の特徴、導入時の課題をわかりやすく解説、皆さまの包装開発や提案に活かせるヒントをお伝えします。

受講するメリット

- 2026年の国内外事例から、包装技術と企業の取組の動向を整理できる
- PPWRやISO 59000の要点を、設計・評価・連携の視点で把握できる
- 採用事例の技術的背景と実用化の課題を理解し、自社の開発・提案に活かせる
- 機能性・コスト・資源循環を踏まえて、今後取り組む優先課題を整理できる

講 師



内村 元一（うちむら げんいち）講師

株式会社パックエール 代表取締役

1999年 凸版印刷株式会社（現TOPPAN）入社。その後、包装材ベンダー、大手製薬メーカー、製紙メーカーにて四半世紀にわたり包装開発・技術・企画の実務に従事。2023年に株式会社パックエールを設立。現場の苦労と経営的視点を併せ持つ「包装のミカタ」として、企業の包装戦略支援や情報発信を行っている。
［資格： 包装管理士、包装士］

大手コンバーターからユーザー企業まで、包装の川上から川下までを熟知する数少ないエキスパート。最大の強みは、「実務経験」に裏打ちされた「論理的伝達力」。技術者・研究者向けのプレゼン技術にも精通しており、「現場の事象を専門用語を使わずに解き明かす」独自の講義スタイルを確立。ただの知識伝達に留まらず、受講者が自社の課題を社内で論理的に説明し、解決へと動かせるようになるための「実践的なアドバイス」を常に心がけている。

日本アイアール
（企画・運営）
〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町15－1 CYK神田岩本町3階
TEL： 03-6206-4966　MAIL： ir@nihon-ir.co.jp

講座内容（予定）

サーキュラーエコノミー時代の包装設計

１．国内外の包装最新動向

1.1　包装業界の動向を示す３つの視点（包材設計・表示・法規制）
1.2　サーキュラーエコノミーで変わる包装設計
1.3　包装を使い捨てで終わらせず、資源として循環させるには
1.4　PPWR適用開始後の最新動向と包装設計への影響

２．ISO 59000の考え方を包装設計にどう活かすか

2.1　ISO 59004：CEの基礎概念と「システム思考」の導入
2.2　ISO 59010：循環移行のためのバリューネットワーク構築
2.3　ISO 59020：循環度評価の尺度と企業が持つべき指標
2.4　国際規格が示す「次世代パッケージ」の設計指針

３．国内外の事例から見る包装技術の変化と課題

当社情報配信サービス「ニュースのミカタ」で紹介した事例から、
技術の特徴や採用された理由、使う際の課題を解説します。
3.1　企業の環境方針と、実際に進んでいる包装の見直し
3.2　軽量化・薄膜化・包装の簡素化による減量とコストダウン
3.3　紙化・バリア技術・モノマテリアル化の進展
3.4　企業の枠を超えた水平リサイクルと回収・再生の連携
3.5　食品・日用品に広がる再生材利用と、品質・調達の課題
3.6　リユース・回収の仕組みと、分別しやすい包装の工夫
3.7　包装量の見直しや再生材の品質評価に使われるAI

４．これからの包装設計に向けて

4.1　国内外の動向から、自社で取り組むことを考える
4.2　環境への効果を数値や根拠で示し、社内や顧客に伝える

セミナー概要

2027年 1 月 20 日 (水) 13:30~16:30

【Live配信】Zoomによるオンライン受講　【アーカイブ配信】2027/1/22～2/5

※LIVE配信をお申込みの方は、追加料金なしでアーカイブ配信の受講が可能です。

【受講料】27,000円（税別）（税込： 29,700円）※１名

※同一企業様から複数名同時にお申し込み頂くと、　人数に応じて下記割引が適用されます。
［2名様⇒20%、3名様⇒30%、4名様⇒40%、5名様以上⇒50% の割引］

※開催日の1週間前を目安に、最少開催人数に達していない場合は開催中止とさせて頂きます。

申 込 書　**サーキュラーエコノミー時代の包装設計**

以下の事項をご記入の上、日本アイアール・セミナー事務局宛にFAXまたはメールでお申込みください。
（※当社ホームページからのお申込みも可能です。）

会社名		**部署名**	
住所			
お名前		**電話番号**	
メールアドレス		**受講形態**	Live配信・アーカイブ配信

*受講形態はいずれかに○を付けてください。

日本アイアール セミナー事務局
FAX：03-6206-9993　　MAIL： ir@nihon-ir.co.jp　　（TEL：03-6206-4966 ）